

平成 30 年 5 月 31 日

金沢区長 國原 章弘 様

横浜市港南区下永谷 4 丁目 21 番 10 号  
社会福祉法人 同塵会  
理事長 松井 住仁



平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書等の提出について

平成 29 年度 横浜市富岡地域ケアプラザの事業報告に係る次の書類を提出します。

【施設名】

横浜市富岡地域ケアプラザ

【提出書類】

- 1 平成 29 年度 富岡地域ケアプラザ事業報告書
- 2 平成 29 年度 富岡地域ケアプラザ収支予算書及び報告書
  - (1) 平成 29 年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書（一般会計）〈地域活動〉
  - (2) 平成 29 年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書（特別会計）  
〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉
  - (3) 平成 29 年度 地域ケアプラザ収支報告書 〈介護保険事業分〉
- 3 平成 29 年度 地域ケアプラザ自主事業報告書・収支報告書

# 平成29年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 【施設名】

横浜市富岡地域ケアプラザ

## 1 全事業共通

### 地域の現状と課題について

- ・横浜市や金沢区の平均を上回る高齢化と、一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯が増加し、長く活動を続けてきた地域団体やボランティアの高齢化もあり、地域支援の担い手不足、世代交代が進まないという現状があります。
- ・「富岡地域支えあい連絡会」（以下、支え合い連絡会）等を通じて、地域課題の現状把握に努め、必要な支援を地域と一緒に考えて参りました。  
この支え合い連絡会の場、機能を活かし、地域ケア会議等を開き、日頃の相談や個別のケースを検討して出てくる地域課題等を題材に取り組みました。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

#### 【高齢者・障害分野への対応】

（わかりやすい相談対応と説明）

- ・相談者に対して介護保険制度や介護サービス等の説明を行う際、視覚的に分かりやすく、パンフレット、地域インフォーマルサービスを富岡支えあい連絡会で作成した「富岡地域支えあいマップ」等を使用し、説明・紹介を行ないました。
- ・館内に元気づくりステーション、健康づくり教室の活動の様子がわかる写真を貼ったパネルを掲示し、視覚で訴え、よりわかりやすい説明・紹介に努めました。

（出前講座・出張相談会等の実施）

- ・身近な場所で介護・福祉相談につながるよう、出前講座という形で地域に出向き、介護保険や成年後見等の各制度について説明会を行なうとともに、出前講座の後に相談会を開催しました。

（問題の早期発見）

- ・民生・児童委員や福祉関係者と適宜連絡を取り、支援の必要な高齢者の課題に早期で対応できるよう努めました。相談内容に応じて、行政との定例会議等で検討・対応し連携を図りました。
- ・当地域ケアプラザは市営住宅と一体の建物にあり、市営住宅生活援助員との連携を欠かさないうエリアの民生・児童委員を交え生活援助員との連携会議を開き、情報共有をしました。

#### 【子ども・障害分野への対応】

- ・養育者へメール登録をしてもらい、ケアプラザ情報のメール配信を行いました。また、主任児童委員へ情報メール配信のちらしを渡し、赤ちゃん訪問の時に渡してもらうよう依頼し周知に努めました。

## (2) 各事業の連携

(課題の抽出と情報の共有)

- ・各部署の事業実施にあたり、地域活動交流コーディネーターと生活支援コーディネーターと地域包括支援センター職員間で連携を図りました。
- ・地域活動交流と生活支援コーディネーター、地域包括支援センター3職種で定例会を月1回開催し事業等の方向性を共有しました。
- ・「支えあい連絡会」の場と機能を活かし、「地域ケア会議」を連携・連動させながら、5月に「富岡西地区の健康づくり・元気づくり」を行いました。

## (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

(職員体制・育成)

- ・必要な資格者を配置しました。また、幅広い世代からの意見や要望に耳を傾けながら相手を思いやることのできる人間性豊かな職員の育成・配置を目指しましたが、本年も引き続き、職員はコミュニティの中心となる地域層との交流を深めることができました。
- ・それぞれの職種において、法人本部と連携して適切な人員配置をしました。
- ・同一法人で運営しているケアプラザと勉強会を開催し専門職としてスキルアップを図りました。
- ・意向調査を実施し、意欲的な業務が行えるようフォローアップに努めました。
- ・他部署との会議を毎月開催し、それぞれの業務内容を把握し連携しました。

(公正・中立性の確保)

- ・地域包括支援センター業務だけではなく、指定管理者として、地域ケアプラザの運営全体が公正・中立であることが求められていると考え、業務運営にあたっては職員一人一人の言動を含め、利用者やほかの事業者から疑念を持たれないような対応に努めました。
- ・さらに業務運営にあたって公正・中立であることは、毎月の会議等普段から機会をとらえて職員に周知徹底しました。

## (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

(「支えあい連絡会」を通じたネットワーク構築)

- ・「支えあい連絡会」の機能を活かし「地域ケア会議」を連携させ、5月26日に地域の体操教室の方と現状の把握、そこから見えてくる健康に対する意識付けなどのネットワークの構築を行いました。

(子育てに関するネットワーク構築)

- ・民生・児童委員の子育て事業に参加をし、情報収集、情報提供を行いました。また、「子育てすこやか交流会」の時に子育てサークルよりでた高齢者との交流会を行いたいという要望に、主任児童委員と子育てサークルと一緒に打ち合わせを重ね交流会を開催しました。
- ・障がい児対象の事業は継続して行いました。

(学校との連携)

- ・29年度から自主化したシニアパワーは花だん隊としてメンバーの中から5名選出し学校との調整役を担ってもらうようになりました。花だん隊の中から、学校コーディネーターを担ってくれる方ができ、学校と地域を徐々に繋げてくれています。個別級の生徒と一緒に野菜を栽培し、栽培した野菜の収穫、その野菜を使ってカレーパーティー、さつまいものお菓子交流会、焼き芋大会などを行いました。
- ・近隣小学校と連携し、ケアプラザの説明を行いました。

### (5) 区行政との協働

- ・横浜市地域福祉保健計画や金沢区運営方針の目標が達成できるよう、様々な事業に協力しました。
- ・地域支援チームの一員として第3期地域福祉保健計画の推進に向け積極的に連携し行動しました。
- ・必要な情報共有を図ることで、区行政と同じ方向性をもって地域福祉に貢献しました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

#### (多世代の交流)

- ・西富岡町内会、ひかりが丘町内会、ケアプラザの3ヶ所の会場で多世代交流事業としてカレー昼食会を行いました。2つの町内会での開催では町内の方に、ケアプラザ開催ではボランティアグループに、カレー作りをお願いしました。
- 2つの町内会で、マジック、体操などを行い大人も子供も楽しめる交流会になりました。

#### (継続した関わり)

- ・子育て世代との関係性を構築するために、0～1歳児の講座、2～3歳講座、3～6歳講座、小学生講座、父子講座を開催しました。養育者との関係性をもつような事業を引き続き行ないました。
  - ・障がい事業の小学校で終了でなく中学生、高校生と事業を行い継続した関係づくりを行ないました。
  - ・夜間帯の事業を行う事で、20～60代の方たちが参加。ボランティア活動に繋げるためのアンケートなどを行い、その中からボランティアへ繋げていきました。
  - ・モデル事業から自主活動となる地域の方たちと学校の花壇づくりは、先生と話し合いながら花壇だけではなく、生徒との交流をより多くもてるように幅広く活動を行いました。
- 学校からの依頼で、200本の苗木植え、ゴーヤ植えなども花だん隊にお願いし植えました。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・福祉保健活動に発展するように、団体登録時と登録後に働きかけを行い、デイサービスでのボランティア出演やケアプラザ事業への協力もしてもらいました。
- ・館内の見やすい場所にケアプラザの空き情報を掲示しました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・カレー昼食会を開催するにあたり作り手を地域の中からお願いしました。
- ・ボランティア感謝会は3月13日に開催しました。ボランティア活動の周知などを行いました。
- ・貸館利用団体に、地域の行事などを依頼しボランティア活動に結びました。  
(ボランティア募集)
- ・自主事業を通じてボランティアを募る他、募集チラシを館内掲示やケアプラザ広報誌に掲載しました。
- ・サークル団体の活動を活かしデイサービス等での活動に結びました。  
(人材・担い手の育成と活動継続の支援)
- ・ケアプラザ事業でアンケートを取る際に、ボランティアに興味があり行ってみたいかの項目を設け、ボランティアに結びました。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

#### (情報発信)

- ・ケアプラザ利用団体の参加者募集なども広報紙「あっとほ一む」に掲載しました。また、館内に募集ボードを作成し掲示しました。
- ・子育て情報、メール配信の中で養育者の声を聞き事業や相談の場として取り組みました。

#### (地域関係団体活動への参加、情報共有)

- ・地域の定例会、サロン、地域行事に参加し情報提供、情報収集を行ない、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと共有できるよう記録に残しました。
- ・会場利用団体の交流会を3月19日に行いました。交流会では、参加団体の紹介や活動内容、情報交換、ケアプラザの利用について、利用者アンケートの報告など行いました。
- ・貸館団体が広く周知されるように、紹介ボードを作成しました。
- ・高齢化による利用団体の減少に対応するために貸館利用団体の紹介表を館内に掲示し来館者に活動の周知を目で見てわかるようにしました。
- ・ケアプラザの広報誌で地域のお祭りの情報提供を7月号で行いました。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

- ・区社協生活支援コーディネーター、区役所と定期会議に出席し、市区内の事業推進の方向性を共有しました。
- ・事業推進については、5職種会議を月1回程度開くことで、担当地区での事業の方向性について協議し、ケアプラザ全体として推進に取り組みました。
- ・地域の健康づくり元気づくり、地域サロンやその他の事業に参加し、取り組みについて地域住民に知って頂けるよう努めました。

### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・個別のニーズを地域包括支援センター3職種からも情報を得て把握をしました。
- ・既存の地域ケア会議や支えあい連絡会などに包括支援センター、地域活動交流コーディネーターとともに出席し、地域の課題、解決すべき問題を把握しました。
- ・住民による活動、生活支援サービス、サロンや健康づくり元気づくりに参加をし、生きた繋がりを作りました。
- ・様々なデータを基に地域の資源把握と分析に取り組みました。

### (3) 連携・協議の場

- ・地区社会福祉協議会、民生・児童委員の定例会に引き続き参加し、地域の状況把握に努めるとともに、ケアプラザの活動を発信しました。
- ・地域のサロンや健康づくり、介護予防にかかる事業などへの参加を継続し、活動の実際を知るように努めました。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・生活支援コーディネーターの定期連絡会に出席し、区役所、区社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携、情報共有をしました。これを通じ、市域の動向を知り、担当地域での課題解決に活かせるように努めました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- ・地域の福祉保健関係団体、医療関係機関、介護サービス事業所等の専門機関だけでなく、自治会・町内会、地元商店会も含めた幅広いネットワーク構築を目指しました。

(支えあい連絡会・地域ケア会議の開催)

- ・生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと連携し「支えあい連絡会」の機能を活かし包括圏域の地域ケア会議の開催をしました。課題の解決に向け地域とともに考えました。

(対象エリアを超えたネットワーク・医療と介護の連携構築)

- ・区内包括北部エリアの4か所の地域包括支援センター協働で「在宅医療連絡会」を年2回開催しました。3年目に入る今年度は、金沢区医師会、薬剤師会と企画段階から関わっていただき、「在宅でのターミナル期」をテーマとして、在宅での医療・介護の観点から課題の抽出、解決に向けてディスカッションを行いました。

(地域住民との連携構築)

- ・地域の福祉ネットワーク構築の充実を目標に地域の福祉保健関係団体、主として民生・児童委員とケアマネとの勉強会(虐待について)と意見交換会を担当エリア

で実施しました。

## ② 実態把握

(相談内容から集計・分析)

- ・日頃の相談から地域の実態を知るため、総合相談票を集計し「相談や介護が必要となった理由」を知ることで、業務の方向性を見据えました。
- ・日ごろの相談から実態把握をし、事業の方向性を定めるなど業務に反映させました。

(地域のデータから知る)

- ・高齢化率などのデータや社会資源を地図等に落とし込み、地域の実態を「見える化」しました。「見える化」したデータは随時更新し、グラフや表にしてケアプラザ廊下等に掲示を続けました。

(地域との情報共有)

- ・民生・児童委員、配食や町内会のボランティア等から情報を受け、また、ケアプラザから情報を伝え、互いに情報を共有して、支援を必要とする方、必要となりそうな方の把握に努めました。
- ・担当地区に2か所ある市営住宅生活援助員や、地域の民生・児童委員と連絡を取りあい要援護者の情報を共有、実態把握に努めました。

(地域サロン等への参加)

- ・顔は知っていてもなかなか挨拶もできないでいた住民同士が繋がることのできる場に共にいることで、生きた情報と実態の把握ができると感じています。  
地域にある複数のサロンに地域活動交流・生活支援コーディネーターと地域包括支援センター職員で顔を出し、来ることができなくなる人＝支援が必要になりそうな人等の早期発見・把握に努めました。

(ひとり暮らし高齢者見守り推進事業)

- ・横浜市の事業である「ひとり暮らし高齢者見守り推進事業」を、民生・児童委員、区役所との連携で行い、対象となる住民の実態把握に努めました。

## ③ 総合相談支援

(総合相談機能の周知)

- ・当地域包括支援センター作成の顔写真入り案内カードを地域の催し等で配布し、総合相談機能の周知・PRに努めました。
- ・相談票から「センターを知った経緯」を集計し、その結果をまとめ、効果的にPRする基礎資料にしました。

(相談対応、相談後の記録管理)

- ・地域包括支援センター職員間で共有し、総合相談・継続記録を管理しました。
- ・地域包括支援センターで関わるケースを見通せるよう昨年作成した検索リストを引き続き管理しました。
- ・山坂の多い地区であり、相談に来たくても来ることができない方には、随時訪問し

相談対応をしました。

(情報提供の工夫)

- ・相談者への情報提供は、介護保険サービスだけでなく地域のボランティア活動、健康づくり等のインフォーマルなサービスについて随時紹介しました。
- ・相談室に元気づくりステーション、健康づくり教室の活動の様子の写真を貼ったパネルを掲示し、視覚的に訴えわかりやすい情報提供をしました。

(出前講座・出張相談会等の実施)

- ・ケアプラザからの遠い地区で相談に来られない方のために、介護保険や成年後見制度について2/9にひかりヶ丘町会で「出前講座」を開き、講座終了後個別に相談会を開き、課題の早期把握・対応に繋げました。

(地域と連携した相談対応)

- ・相談対応を通して把握した困りごとやニーズを、民生・児童委員や地域のボランティアに伝え、地域とともに生活のしづらさを解決してきました。

(職員の研修参加)

- ・適宜、研修に参加し、参加職員は情報が共有できるよう研修資料を職員回覧周知し、日々の相談業務に活かしました。

(ご利用者向けのアンケート)

- ・相談業務の質の向上を図る目的で「利用者アンケート」を実施しました。結果の集計で頂いたご意見から相談業務を振り返りました。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

(制度の普及と相談会の開催)

- ・地域住民へ制度の普及を目的とした出前講座を1月25日に能見台地域ケアプラザと共催で開催しました。
- ・「シルバーライフ安心講座」を継続開催し、制度の説明や啓発等を行いました。3月9日と3月23日に開催し、講座終了後に個別相談会を行いました。

(消費者被害の防止)

- ・被害が心配されるケースには、防止のためのシール（消費生活総合センター作成）を配布、玄関先に貼ってもらうように伝えました。金沢警察署配信のメールを参考に被害手口を相談時に紹介しました。
- ・悪徳商法の最新情報を、介護者のつどい、元気づくりステーションや健康づくり教室等の参加者に話をして、金沢警察署配信メールを参考に被害手口の紹介をしました。
- ・町内会と共催し、消費者被害防止のため「消費生活講座」を7月21日北部町内会サロンで（金沢消防署#7119の使い方と消費者被害の防止講座）金沢消防署との共同で実施しました。
- ・被害に遭った方、そのご家族、民生・児童委員や介護関係者から情報を得て、地域住民や他地域包括支援センター等と共有し被害情報の記録整理をしました。

### ② 高齢者虐待への対応



(地域の福祉関係者との連携)

- ・地域包括支援センターの機能と役割を随時周知し、地域福祉関係者、各関係機関と常に連携をとり、早期発見・早期対応に繋げました。

(他機関とのネットワーク構築)

- ・対応が必要なケースがあれば、区役所、警察、弁護士等の専門機関と問題解決に向けたネットワーク(チーム)を組み、ケアマネジャーから相談のあったケースを区役所との定例会で情報を共有しました。今後の動きにより連携会議へと動く予定です。

(虐待の理解と周知による防止策)

- ・虐待の防止を図るため、また養護者支援の視点を欠かさないよう「介護者のつどい」等の場を活用し、養護者・介護者との関係づくりをし、虐待に至る前に早期発見に努め、虐待防止に繋げました。1月25日に能見台地域ケアプラザと共催で講座を開催しました。

### ③ 認知症

(実態把握)

- ・地域包括支援センターの機能を活かし相談を受け、総合相談票で「相談が必要となった原因」を聞き取り、集計により実態把握を続けました。

(認知症理解の普及・啓発)

- ・地域住民を対象とした認知症講演会や啓発事業を実施しました。
- ・認知症予防に資する講座や研修を開催し、認知症予防の普及・啓発に努めました。

(認知症キャラバンメイトとの協働・後方支援)

- ・地域の認知症キャラバンメイト(以下、キャラバンメイト)と協働してシニアクラブ、地域活動交流自主事業等と連携し、認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ・キャラバンメイトが地域包括支援センターの担当エリア内で活動できるよう、認知症サポーター養成講座の内容をともに考え、活動場所の提案・提供を行ないました

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

(民生・児童委員とケアマネジャーとの連携推進)

- ・民生・児童委員とケアマネジャーとの意見交換会を継続して実施しました。具体的な課題を出して、共に考える意見交換会としました。

(インフォーマルサービスの開発と情報収集) ※1

- ・地域に出向き、聞き取り調査等で情報収集をし、日々の相談や地域ケア会議等にも活用できるよう整理し、適宜地域住民に還元し連携の推進を図りました。

(医療講演会の実施) ※2

- ・区内の医療機関(病院)と協働し、地域住民向けに医療講座を年1回実施しました。富岡第一地区は地区社会福祉協議会、並木地域ケアプラザと共催しました。

※1 ※2 地域活動交流部門と協働

働

## ② 医療・介護の連携推進支援

(医療機関とケアマネジャーの意見交換)

- ・金沢区薬剤師会とケアマネジャーとの意見交換会を、医療と介護の連携推進を目的に開催しました。開催にあたっては、区内の全地域包括支援センターで協働しました。
- ・区内包括北部エリアの4ヶ所の地域包括支援センター協働で「在宅医療連絡会」を年2回開催しました。3年目に入る今年度は金沢区医師会、薬剤師会と企画段階から関わっていただき、より充実した連絡会としました。「在宅でのターミナル期」をテーマとして、在宅での医療・介護の視点から課題の抽出、課題解決に向けてのディスカッションをしました。
- ・金沢区内外の病院医療ソーシャルワーカーと区内の全地域包括支援センターとの連絡会を開き、意見交換を行いました。

※いずれも他ケアプラザ包括との協働事業です

## ③ ケアマネジャー支援

(随時の個別相談・支援困難ケース等の対応)

- ・随時、担当エリア内外のケアマネジャーから相談を受け、必要に応じ同行訪問をしました。受けた相談は民生・児童委員や医療機関等に必要に応じて、協力を仰ぎました。
- ・ケアマネジャーが適切な地域情報を得られるよう、生活支援コーディネーター作成の「富岡エリアマップ」等で情報提供をしました。
- ・地域での見守りが継続でき、対象者が地域で培った関係が途切れないよう地域情報の提供等による支援をケアマネジャーに働きかけました。

(地域ケア会議でのケース選定)

- ・ケアマネジャーが担当するケースから選定し、ケアマネ支援に結びました。

(民生・児童委員とケアマネジャーの連携支援)

- ・富岡第一地区民生・児童委員との意見交換会を並木地域ケアプラザと協働で開催しました。
- ・富岡第三地区民生・児童委員との意見交換会を、実施しました。
- ・両地区とも、地域の高齢者の状況及び支援の課題等について意見交換を行いました。

(金沢区北部(富岡東・能見台・並木・富岡)の地域包括支援センター協働)

- ・「ケアマネ・カフェ」を年2回実施しました。気軽に話し、困りごとや悩みごとの相談ができる場として運営しました。
- ・ケアマネジャーのスキルアップを目的に事例検討会を年2回実施しました。
- ・「在宅医療連絡会」を年2回、開催しました。3年目に入る今年度は、金沢区医師会、薬剤師会と企画段階から関わっていただきました。「在宅でのターミナル期」をテーマとして、在宅での医療・介護の視点から課題の抽出、解決に向けてディスカッションをしました。

(金沢区の全地域包括支援センター協働)

- ・薬剤師とケアマネジャーの意見交換会を開催しました。
- ・区内勤務の新任ケアマネジャーを対象に「新任ケアマネ研修」を開催しました。

- ・主任ケアマネジャーが輪番で金沢ケアマネ倶楽部役員会に出席し、連携を図りました。
- ・居宅介護支援事業所に所属する主任介護支援専門員を対象に区内主任ケアマネジャーネットワークを昨年に引き続き実施しました。研修だけでなく課題解決などを目的とした話し合いをしました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・個別支援を目的としたケア会議で課題を抽出し、課題を地域で解決するために、地域包括支援ネットワーク構築などを目的にした「地域ケア会議」を開催しました。
- ・個の問題から地域・医療・介護の連携を視野に入れ、地域課題の抽出をするとともに、出た課題を題材として具体的な取り組みができるか地域とともに考えました。
- ・開催にあたっては「支えあい連絡会」等の既存の会議を活用し、その機能を活かしました。
- ・包括レベルの地域ケア会議では富岡エリアの特徴であり、10年間に渡り盛んに行われている健康づくりの実態把握をしたうえで、富岡の元気づくり健康づくりの「これからの10年」をテーマに開催しました。  
また、一昨年・昨年に引き続き「在宅医療連絡会」を年2回開催しました。今年度は「在宅ターミナル期」をテーマに多職種で話し合いをしました。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

##### 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

###### (地域と連携するケアマネジメント)

- ・横浜市平均よりも高齢化が進む地域である事を念頭に、一人暮らし、高齢夫婦世帯が増えていることから認知症予防や閉じこもり予防を意識して関わりました。
- ・担当の地区には元気づくりステーション、健康づくり教室、認知症予防スリーAサロンをはじめ、各町内会、地区社会福祉協議会が運営するサロン事業があるという地域の特徴を活かし、ケアプランにはインフォーマルの受け皿を取り入れながら、馴染みの近隣者との接点が途切れることのないよう、ケアプランを提案しました。
- ・地域の特性を理解し、社会資源を「マップ化」「見える化」した基礎資料を作成(更新)し、この資料を基に要支援、介護予防段階の方が介護保険にとどまらず、地域に繋がり、積極的参加ができるよう情報提供するとともに、活動に繋がるよう支援しました。

###### (ケアマネジメントの委託)

- ・委託でケアプランを依頼しているケアマネジャーとともに、サービス担当者会議に参加し、その方に適したケアマネジメントを一緒に考えるようにしました。

###### (介護予防・認知症予防と知識の普及啓発)

- ・認知症の相談が増えています。認知症の正しい知識の周知を目的として認知症サポーターの育成を地域のキャラバンメイトの皆様とともに取り組みました。
- ・今年度で5年目になる「とみおか健康フェア」を地域住民と一緒に企画し、健康に対する啓発活動を行い健康寿命の延長を考える機会としました。
- ・地域の関係機関と連携しながら健康づくり、生きがいづくりの充実を図り、住みよいまちづくりを考えました。
- ・医師等による講座を開催し、介護予防・認知症予防について、地域住民向けに知識

の普及啓発を行いました。

(ラジオ体操)

- ・ラジオ体操がエリア内の4か所の公園で毎朝実施されています。ロコミで、地域を越えて、参加者が増えるとともに緩やかながら交流の場にもなっています。地域の前向きな取り組みとして、地域住民に適宜情報提供しました。

(地域サロン等への参加)

- ・地域サロン等へ地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと参加し、介護予防の話などを実施しました。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

- ・高齢化率の高く、山坂の多いという生活し難い地域であることがわかります。訪問時に一人暮らしや高齢夫婦2人の生活不安や災害時の心配の声が聞かれます。すぐに解決できないことが多いですが、地域包括支援センターにできることは何かを考え、支援に結びました。

(健康づくり・元気づくり)

- ・今あるサービス、地域で実施しているラジオ体操、元気づくりステーション、サロン等を紹介し繋げる事はもちろん、様々な層の高齢者の思いに沿う場作りを地域の皆様と一緒に考えました。
- ・地域に出向いて、健康づくりや介護予防の講座(栄養講座・口腔ケア・ロコモ講座)を開催しました。
- ・各町内会で行なわれている体操教室や元気づくりステーションに出向き健康講話と年1回の体力測定で体操講師からのコメントを入れた結果返しを行い、「自分の健康は自分でつくる、自分でまもる」という意識を高めて頂けるよう、継続して通い続けることの大切さを伝えました。

(支えあいマップ)

- ・地域住民と一緒に「支えあいマップ」作りを行い、活動に参加していない、または参加ができなくなっている高齢者等を把握し、そのような高齢者が活動に参加できるよう拡充を図りました。

(カフェ・サロンの開催)

- ・認知症カフェの理念にも繋がるよう住民参加型のカフェを開催、充実を図りました。気軽に集い、認知症のことなど、何でも相談できる居場所作りをしました。

## その他

- ・地域ケアプラザの大きな仕事は、ネットワークの構築にあると考えて業務に取り組みました。地域包括ケアの実現に向けて、日々の活動を振り返り、地域課題を探り、具体的な取り組みができるか地域とともに考えました。
- ・高齢化率の高い地域の状況や地域の社会資源を「マップ化」「見える化」して、地域福祉保健計画に沿って業務を遂行しました。
- ・地域特性を理解し、社会資源の開発等について地域住民とともに「地域ケア会議」を通して住民・関係機関とのネットワークの構築を図りました。
- ・これらの実施にあたっては生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーター、地域包括支援センターが一体となって取り組みました。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ・施設を利用するすべての方が、安全かつ快適にご利用できるよう、指定管理者の基本協定書に基づき、建物や設備の保守管理に努めました。
- ・建物管理に関する業者と連携を図り、保守点検や施設清掃等、計画的に行いました。
- ・日頃から職員による目視点検を行い、改善が必要な個所がないか確認しました。
- ・施設の外回りにおいても美化清掃を実施し、利用しやすい施設作りに努めました。
- ・修繕等が発生した場合は速やかに区と協議し、必要な対策を講じました。

### イ 効率的な運営への取組について

- ・備品や物品購入は、品質・価格・納期などの内容を総合的に検討し、適正に購入しました。
- ・委託業者については、法人一括で入札から決定することで、スケールメリットを生かしながらサービスの質を落とすことない支出を実施しました。
- ・法人内の会議において業務効率を図るための取り組みを共有し、無駄のない経営に取り組みました。

### ウ 苦情受付体制について

- ・苦情申し入れに応じた役割や解決までの苦情処理システムフローを活用し、苦情解決の実現を目指しました。
- ・「苦情相談窓口」の案内を見やすい場所に貼付して施設利用者への周知を図りました。
- ・貸館利用団体の交流会などを活用し、気軽に苦情や要望など申し入れやすい環境を整えました。
- ・各部署に苦情担当者を配置して、苦情を受付けた際は誠意をもって対応し、苦情解決責任者が必要な対策を図ることを目指し、体制を整えました。

### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・セキュリティー会社と24時間の連絡体制を確保し、防犯・防災に努めました。
- ・年2回の防災訓練の実施や防災マニュアルの確認の他、併設する富岡西ハイツと共同して防災訓練を実施するなど、相互援助の関係を深めました。
- ・「特別避難場所の協力に関する協定」に沿って、応急備蓄物資の整備や開設マニュアルの見直しを行い、災害における開設への備えを行いました。
- ・横浜市防災情報のサイトにて、担当エリアにおける災害情報に添って必要な対策を講じました。

### オ 事故防止への取組について

- ・ご利用者が安心して利用できるように、日頃から事故に繋がる恐れがある危険因子の早期発見に努め、予見可能な事故は未然に防ぎました。
- ・回避困難な突発的な事故や利用者の急病などについては、安全及び人命維持を第一に、迅速に対応することを目指しました。
- ・法人内の事例や他のケアプラザにて発生した事故などについても情報把握に努め、事故防止に対する対応を検討しました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「横浜市個人情報保護に関する条例」、当法人の「個人情報保護規定」に基づき、プライバシーの尊重を遵守した個人情報保護に努めました。
- ・外部への情報発信に関してはダブルチェックを徹底し、情報処理適正化に努めます。
- ・パソコンや個人情報書類などは、パスワード管理や施錠できる場所に保管するなど厳格な取り扱いを周知・徹底しました。
- ・個人情報の漏洩を防止するため、業務事例などを用いて実践的な研修を実施しました。

#### キ 情報公開への取組について

- ・運営状況・事業計画・報告及び当法人のパンフレットなどを、常時、閲覧できる場所に設置する他、法人のホームページにおいても最新の情報提供に努めました。
- ・介護サービス事業に関しては、情報公表サービスの記載内容に変更が生じた際は速やかに対応しました。
- ・写真や資料などを用いて、必要な情報公開を実施しました。

#### ク 人権啓発への取組について

- ・指定管理者の基本姿勢として、様々な人権問題があることに配慮すること、また人権を考える機会をより多く設けることを念頭に、職員の意識向上に取り組みました。
- ・事務所会議など定例的な会合などを利用し、職場でもタイムリーなテーマを取り上げて研修を行いました。
- ・高齢者や児童の虐待など、業務上でも取り組む可能性の高いものについては、特に意識的に課題追求の取り組み姿勢で対応するように努めました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・冷暖房においても適正温度に設定し、送風機などを活用して省エネに努めました。
- ・車両に関しては、急発進やアイドリングなど無駄な燃料消費を防ぐことや定期点検や運行前点検を実施し、安全と環境に配慮した車両維持に努めました。
- ・利用者に不快な気持ちを与えないよう配慮しながら、気候に応じた服装でクールビズ・ウォームビズを実施しました。
- ・地域住民にも啓発しながら「3R夢プラン」に準じてゴミの発生抑制・再使用・再生利用に継続して取り組みました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

看護師	1名【常勤】
社会福祉士	1名【常勤】
主任ケアマネジャー	1名【常勤】
介護予防プランナー (介護支援専門員)	1名【非常勤】

#### 《目標》

- ・横浜市平均よりも高齢化が進んでいる地域である事を念頭に、一人暮らし、高齢夫婦世帯が増えていることから認知症予防や閉じこもり予防を意識して関わりました。
- ・担当の地区には元気づくりステーション、健康づくり教室、認知症予防スリーAサロンをはじめ、各町内会、地区社会福祉協議会が運営するサロン事業があるという地域の特徴を活かし、ケアプランにはインフォーマルサービスを取り入れながら、馴染みの近隣者との接点が途切れることのないよう、ケアプランを提案しました。

#### 《実費負担》

- 原則、利用者負担はありません。  
但し、契約以外の求めがあった場合は、実費相当分を事前に提示いたします。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・対象エリアは、昭和40年代に開発された住宅地で山坂が多く、公的な機関も小・中学校・コミュニティハウスのみです。生活するうえで様々な社会資源についての情報を求められることから、地域を巡回する移動販売車のルートや地元商店街情報など、暮らしに密着した地域の情報を提供し、暮らしづらさの解消に努めました。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
171	177	185	189	194	189
10月	11月	12月	1月	2月	3月
195	193	194	193	190	196

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員（ケアマネジャー）	
常勤兼務	1名 ※管理者を兼務
常勤専従	4名
非常勤専従	1名
合計	6名

《目標に対する成果等》

- ・住み慣れた地域にて安心して生活が営めるよう、ご利用者及びご家族に気持ちに添ったケアプランを作成することを心掛けました。
- ・介護保険サービスに偏ることなく、地域におけるインフォーマルサービスも取り入れたケアプランを作成しました。
- ・利用者情報の伝達や共有する会議を毎週実施し、質の高いサービスを提供しました。

《実費負担》

- 原則、利用者負担なし。  
但し、契約以外の求めがあった場合は、実費相当分を事前に提示いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・主任介護支援専門員を配置し、より質の高いサービスを提供するために特定事業所加算を算定。
- ・24時間での相談体制を確保する事で、支援困難ケースも対応いたしました。
- ・看護師、介護福祉士、主任介護支援専門員の有資格者により地域における多様なケースを担当いたしました。
- ・一部のサービス事業所に偏るケアプランにならないよう、透明性のあるサービスを提供いたしました。
- ・経験年数に応じた年間研修計画書を作成し、研修会へ積極的に参加することで、常に脂質の向上に繋げるように努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	175	172	171	172	173
10月	11月	12月	1月	2月	3月
171	165	163	162	162	161



●通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康状態の確認、介護サービス（移動や排泄の介助等）、送迎、入浴、食事、レクリエーション、相談援助等行いました。
- 担当ケアマネジャーと連携を図り、必要なサービス提供を実施しました。

《実費負担》

● 1割負担分

(要介護1)	614円
(要介護2)	725円
(要介護3)	837円
(要介護4)	948円
(要介護5)	1,060円

● 2割負担分

(認知症対応 1072円)	1,228円	(認知症対応 2144円)
(認知症対応 1188円)	1,450円	(認知症対応 2376円)
(認知症対応 1305円)	1,674円	(認知症対応 2609円)
(認知症対応 1422円)	1,896円	(認知症対応 2844円)
(認知症対応 1539円)	2,120円	(認知症対応 3077円)

- 食費負担 680円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:00~15:30 (認知症対応 9:15~16:15)

《職員体制》

管理者	1名 (常勤兼務)
生活相談員 (兼介護職員)	3名 (常勤兼務)
介護職員	16名 (非常勤)
看護職員 (兼機能訓練指導員)	9名 (非常勤兼務)
調理員	5名 (非常勤)
運転士	7名 (非常勤)

《目標に対する成果》

- ・中重度の要介護者も積極的に受け入れて、ご家族の介護負担軽減に努めました。
- ・本人が選択した、様々なプログラムに参加いただきました。

《その他 (特徴的な取組、PR等)》

- ・将棋・囲碁・麻雀など、個別のレクリエーションを提供しました。
- ・ご利用者の状態に合わせた食事・排泄・入浴の介助等を検討し提供しました。

《利用者実績 (延べ人数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
747	815	827	866	878	877
10月	11月	12月	1月	2月	3月
896	887	863	775	831	918

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康状態の確認、介護サービス（移動や排泄の介助等）、送迎、入浴、食事、口腔ケア、レクリエーション、相談援助等行いました。
- 担当ケアマネジャーと連携を図り、必要なサービス提供を実施しました。

《実費負担》

	● 1割負担分	● 2割負担金
(事業対象者)		
*週1回程度利用	1766円(1月につき)	3531円(1月につき)
*週2回程度利用	3621円(1月につき)	7241円(1月につき)
●食費負担	680円	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:00 ~ 15:30

《職員体制》

管理者	1名(常勤兼務)
生活相談員(兼介護職員)	3名(常勤兼務)
介護職員	16名(非常勤)
看護職員(兼機能訓練指導員)	9名(非常勤兼務)
調理員	5名(非常勤)
運転士	7名(非常勤)

《目標に対する成果等》

自立した生活が継続できるようケアマネジャーや関係機関と連携を図りました。要介護状態にならないよう様々な機能訓練を取り入れました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

生活的なリハビリテーションをプログラムに取り入れて、生活機能の改善や維持・向上に取り組みました。

《利用者実績(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
19	19	20	20	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	18	18	17	16	16

平成29年度「富岡地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,477,000	550,600	15,027,600	15,027,600	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	584,120	△ 584,120	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	66,751	△ 66,751	
印刷代	0		0	12,270	△ 12,270	
自動販売機手数料	0		0	22,441	△ 22,441	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	32,040	△ 32,040	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,467,000	550,600	19,017,600	19,668,471	△ 650,871	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,470,000	0	10,470,000	10,464,122	5,878	
本俸	10,407,000		10,407,000	7,506,191	2,900,809	
社会保険料	0		0	759,157	△ 759,157	
手当計	0		0	2,017,833	△ 2,017,833	
健康診断費	63,000		63,000	47,801	15,199	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	この列は入力しない
退職給付引当金繰入額	0		0	73,140	△ 73,140	
その他	0		0	60,000	△ 60,000	
事務費	2,034,400	0	2,034,400	1,326,510	707,890	
旅費	23,000		23,000	18,100	4,900	
消耗品費	570,000		570,000	430,526	139,474	
会議開費	5,000		5,000	4,354	646	
印刷製本費	15,000		15,000	9,322	5,678	
通信費	331,000		331,000	326,223	4,777	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	570,000		570,000	305,064	264,936	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	33,000		33,000	38,798	△ 5,798	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	1,000		1,000	1,268	△ 268	
リース料	130,000		130,000	11,772	118,228	
手数料	33,000		33,000	43,675	△ 10,675	
地域協力費	0		0	11,382	△ 11,382	
その他	323,400		323,400	126,026	197,374	
事業費	572,000	0	572,000	872,994	△ 321,993	
運営協議会経費	42,000		42,000	21,001	20,999	予算：指定額
指定管理料充当 事業	530,000		530,000	851,993	△ 321,993	
管理費	4,689,591	572,200	4,689,591	6,056,255	244,517	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	2,018,000	0	2,018,000	3,193,572	1,175,572	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	236,508		236,508	236,508	0	
修繕費	474,000	572,200	1,046,200	1,024,600	21,600	予算：指定額
機械整備費	168,986		168,986	169,942	△ 956	
設備保全費	779,585	0	779,585	783,790	△ 4,205	
空調衛生設備保守	372,726		372,726	372,726	0	
消防設備保守	37,125		37,125	41,330	△ 4,205	
電気設備保守	23,333		23,333	23,333	0	
害虫駆除清掃保守	77,403		77,403	77,403	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	268,998		268,998	268,998	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	875,921		875,921	647,843	228,078	
公租公課	837,600	0	837,600	837,129	471	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	837,600		837,600	837,129	471	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,603,591	572,200	18,603,591	19,557,010	636,763	
差引	△ 136,591	△ 21,600	414,009	111,461	△ 1,287,634	

自主事業費収入	530,000		530,000	0	530,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	530,000		530,000	851,993	△ 321,993	
自主事業収支	0	0	0	△ 851,993	851,993	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	22,441	△ 22,441	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	22,441	△ 22,441	

**平成29年度「富岡地域ケアプラザ」**  
**収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,350,000	△ 168,000	23,182,000	23,182,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 2,178,266	3,610,734	3,610,734	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	97,500	△ 97,500	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	52,437	△ 52,437	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	22,437	△ 22,437	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	30,000	△ 30,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>29,290,000</b>	<b>△ 2,346,266</b>	<b>26,943,734</b>	<b>27,093,671</b>	<b>△ 149,937</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>25,230,000</b>	<b>0</b>	<b>25,230,000</b>	<b>22,630,076</b>	<b>2,599,924</b>	
本俸	25,112,000		25,112,000	13,605,685	11,506,315	
社会保険料	0		0	2,743,794	△ 2,743,794	
手当計	0		0	5,821,765	△ 5,821,765	
健康診断費	118,000		118,000	50,532	67,468	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	243,800	△ 243,800	
その他	0		0	164,500	△ 164,500	
<b>事務費</b>	<b>1,406,000</b>	<b>0</b>	<b>1,406,000</b>	<b>1,355,545</b>	<b>50,455</b>	
旅費	29,000		29,000	18,100	10,900	
消耗品費	500,000		500,000	223,197	276,803	
会議随費	1,000		1,000	0	1,000	
印刷製本費	30,000		30,000	17,543	12,457	
通信費	337,000		337,000	342,716	△ 5,716	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	45,660	54,340	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	33,000		33,000	154,043	△ 121,043	
職員等研修費	0		0	1,500	△ 1,500	
振込手数料	7,000		7,000	5,940	1,060	
リース料	198,000		198,000	3,132	194,868	
手数料	7,000		7,000	0	7,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	164,000		164,000	543,714	△ 379,714	
<b>事業費</b>	<b>1,240,000</b>	<b>0</b>	<b>1,240,000</b>	<b>923,640</b>	<b>316,360</b>	
協力医	630,000		630,000	462,000	168,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	150,000		150,000	133,489	16,511	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	131,125	19,875	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	197,026	111,974	予算:指定額
<b>管理費</b>	<b>1,414,000</b>	<b>0</b>	<b>778,000</b>	<b>1,463,521</b>	<b>163,402</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	636,000	0	0	848,923	0	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	62,868		62,868	62,868	0	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	44,919		44,919	45,173	△ 254	
設備保全費	207,229	0	207,229	208,347	△ 1,118	
空調衛生設備保守	99,079		99,079	99,079	0	
消防設備保守	9,868		9,868	10,986	△ 1,118	
電気設備保守	6,202		6,202	6,202	0	
害虫駆除清掃保守	20,575		20,575	20,575	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	71,505		71,505	71,505	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	336,984		336,984	172,210	164,774	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>29,290,000</b>	<b>0</b>	<b>28,654,000</b>	<b>26,372,782</b>	<b>3,130,141</b>	
差引	0	△ 2,346,266	△ 1,710,266	720,889	△ 3,280,078	

自主事業費収入	610,000			97,500		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	610,000			461,640		
自主事業収支	0			△ 364,140		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			22,437		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			22,437		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 富岡地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	認知症対応型 通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	4572	26743	86951
	その他	6890	8763	734	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費	6890			通所介護 その他収入に 含む	通所介護 その他収入に 含む
	事業・負担金収入			297		
	寄付金収入			100		
	受入研修収入			244		
	要介護認定調査委託事業 収入		598			
	サービス区分間繰入金収入		6465			
	委託事業収入		1700			
	その他			93		
	<b>収入合計(A)</b>	<b>11462</b>	<b>35506</b>	<b>87685</b>	<b>17814</b>	<b>9430</b>
支出	人件費		35660	72302	通所介護 支出に 含む	通所介護 支出に 含む
	事務費		994	2699		
	事業費		2	10157		
	管理費			9914		
	その他	11462	521	578		
	利用者負担軽減額			50		
	消費税					
	介護予防プラン委託料	4997				
	サービス区分間繰入金支出	6465				
	ファイナンス・リース債務の返済 支出		518	518		
	その他		3	10		
<b>支出合計(B)</b>	<b>11462</b>	<b>37177</b>	<b>95650</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>0</b>	<b>-1671</b>	<b>-7965</b>	<b>17814</b>	<b>9430</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症を知って 予防しよう	(目的) 住民相互で助け合う街づくりに向けて、地域の方に認知症や介護予防について理解と関心を促す機会を作るために企画しました。 (内容) 午前に体操、午後に講演を行い、笑ヨガ・脳トレコーナーも設け開催しました。  ・ボールを使った認知症・介護予防体操 ・講演「認知症を知って予防しよう」 ・笑ヨガ・脳トレ	H30. 3. 12 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
西ハイツサロン	(目的) 地域ケアプラザと同一敷地内にある横浜市営住宅の住民を中心に住民同士の繋がり・交流の場づくり。生活相談室で開催。 (内容) 出入り自由でお茶とお菓子を用意し、気軽に住民同士がおしゃべりが出来るようケアプラザ職員と民生・児童委員で開催しました。	毎月第二木曜日・ 12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	(目的) 介護者が交流・情報交換などができ、日ごろの介護の心身の負担を軽減し、介護の知識を深めます。 (内容) 介護の悩み傾聴、ピアカウンセリング、勉強会、リラックス体操など	毎月16日・11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバーライフ 安心講座	(目的) 今までの自分の人生を振り返り、これからの生活に大切なものはなにか。 今やるべきことを一緒に考えるために、必要な知識の普及啓発。 (内容) ①3/9 「自分らしく終わりたい！エンディングノートの話」 ②3/23 「いざとなっても慌てないお葬式の話」 エンディングデザインコンサルタントオフィス・シバタ 柴田典子氏に講師を依頼して、終活について学びました。	H30. 3. 9、 H30. 3. 23 ・ 2回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢期に知っておきたい法律講座	(目的) 本人・家族・支援者・ご近所さんからみて気になる法律知識の講演。認知症になった時のお金の管理・障害のある子どものこれからの事・高齢者虐待って何？ (内容) 講師：弁護士・村瀬景子氏 お隣がゴミお屋敷になっているようで心配など実際に問題解決にあたっている弁護士を迎えての講演。能見台地域ケアプラザ、包括支援センターと共同開催	H30. 1. 25・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
せせらぎサロン	(目的) 交流の場、見守りの場 (内容) サロンの中で、自由におしゃべりができる時間とゲストによる音楽演奏を楽しんでもらいました。またボランティアさんと参加者との交流の場としました。	毎月第1、3 木曜日 (8月は休み) 20回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほほえみくらぶ	(目的) 2～3歳児を対象に就園前の友達づくり、養育者の情報交換の場。 講師を依頼し、いろいろなものにチャレンジを行い、できることを増やしていくような仕組みづくりを行いました。 (内容) お菓子作り、親子体操、音楽レクリエーション、サッカー、リトミック	毎月第4水曜日 11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
0～1歳児講座	(目的) 子どもが生まれての地域とのつながり作り、情報交換、情報収集の場。また、0歳からケアプラザの事業に参加してもらうことで、長い期間の顔の見える関係づくりを行いました。 (内容) ベビーマッサージ、ママのためのヨガ、離乳食講座、リンパの流れのストレッチおちゃ会などを行いました。	4, 5, 6, 7, 8 9, 10, 11, 2, 3月 10回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひなたぼっこ	(目的) 障がい児の放課後の居場所作り。地域のボランティアさんに参加をしてもらい、地域の中での見守りにもつなげました。 (内容) 体操と工作にわかれ、好きな方に参加。それが終わると全員でお菓子作りを行い、おやつタイム。	毎月第3水曜日 (8月3月休み) 10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サマーフレンド	(目的) 夏休みの場の提供。親のレスフェイト (内容) 並木地区センターと六浦地区センターを使用し、運動と室内活動を行いました。 共催：金沢区社会福祉協議会 9ケアプラザ 協力：横浜市体育協会	7, 8月 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おとうさんと いっしょに遊ぼう	(目的) 4歳～少額2年生までを対象に父親と子どもと一緒に遊びを通じて体を動かすことの大事さを伝えました。体操というツールを通じて親子のつながり、父親の社会参加、地域参加を目指しました。 (内容) 鉄棒、跳び箱、ボール、マット、縄飛びなどを行いました。	7, 9, 11, 3月 4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
学校と施設の連絡会	(目的) 担当エリア、周辺の施設、学校関係との情報交換の場。 (内容) 最初は自己紹介、続いて名刺交換、自由に聞きたいことを話しました。 共催：能見台地域ケアプラザ	6月 1回



# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お元気体操教室	(目的) 子どもの運動能力の低下が言われている中、 養育者が運動を教える難しさから運動啓発 (内容) 小田小学校の体育館を使用し、マット、跳び箱、縄飛び、リズムトレーニングなどを行いました。 共催：富岡第一地区社会福祉協議会 協力：並木地域ケアプラザ 小田小学校	12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ぽっかぽか	(目的) ひなたぼっこを卒業した子、また地域の中の 中学生対象の余暇支援事業。 つながり作り、見守り (内容) 夏休みにお菓子作りと工作を行いました。	8月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いちごクラブ	(目的) ほほえみくらぶを卒業して幼稚園や保育園に通ってしまう子を対象に、ケアプラザとのつながり作り、情報交換の場 (内容) 遊びの中から体を動かすことの大事さを伝え運動の楽しさを伝えました。 動物歩き、リズムトレーニング、ボール遊びサーキット、鉄棒、トランポリンなど使って粉いました。	毎月第1水曜日 11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
利用者懇談会	(目的) ケアプラザの貸館団体へむけて、ケアプラザについての話と貸館団体同士の交流。 (内容) 貸館について、ケアプラザとはという話や団体同士の情報交換会	3月 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア感謝会	(目的) 日頃からケアプラザ内でのボランティア活動をしていただいている方への感謝会 (内容) 食事会と朗読劇を行いました	3月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コミハ・ケアプラ祭	(目的) 地域の方への日頃の感謝やケアプラザの周知 (内容) コンサート、ゲームコーナー、体力測定など	10月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声広場	(目的) 運動は嫌いだ、歌なら歌うという方などの閉じこもり予防。 (内容) ピアノに合わせて全員で童謡、唱歌、今の歌などを歌いました。	毎月第1金曜日 11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子でチャレンジ	(目的) 親子で一緒にお菓子を作ることやひとつのことを協力して行うことの時間を楽しんでもらいました。また、小学生の講座を行うことでケアプラザの周知を行いました。 (内容) クッキー、和菓子、ハロウィン菓子、バレンタイン、クリスマスケーキなどを作りました。	4, 6, 8, 10 12, 2月 6回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手作りクッキーでクリスマス会	(目的) 障がいのある子どもたちの居場所作りや地域のボランティアさんと交流することで、顔の見える関係づくり。 (内容) ケアプラザの利用団体さんにクッキーづくりの講師をお願いし、一緒に行いました。	12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お元気フェスタ	(目的) 地域住民に運動啓発を行うとともに、子供から高齢者までが交流できる場づくり。 (内容) 第一地区社会福祉協議会と共催のもち、運動につながるような仕組みづくり、多世代が集えるような場づくりを行いました。	2月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ナイトヨガ	(目的) 夜間の時間帯の稼働率の向上、日中仕事をしていて運動ができない方のために開催。 (内容) ヨガ	毎月第2, 4 月曜日 24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
チャレンジフェスティバル	(目的) メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの啓発事業。 (内容) 保健活動推進員、企業、大学と連携し、測定を行い、運動啓発に促しました。	2月 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
けあぷら広場	(目的) 放課後の居場所作り。 (内容) ボランティアルームを開放し、15時から夕方 の時間で居場所を作りました。	毎週火、金曜日 73回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リンパを流すス トレッチ	(目的) 高齢者対象、健康づくりの場、情報交換、 交流の場。 (内容) 2回講座、講師によるリンパを流すス トレッチとマッサージを行いました。	11月 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にじいろコン サート	(目的) 小学生、中学生、地域の方による身近な 場所での演奏会。 (内容) 小学校のコーラスクラブ、中学校の吹奏楽 地域の演奏者が小学校の体育館で演奏会を 行しました。 吹奏楽部からの演奏の場を探している ということから始まりました。	12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなの歌広場	(目的) 歌声広場よりももう少し古い歌を歌いたい という要望により開催。閉じこもり予防。 (内容) ピアノに合わせて全員で一緒に歌を歌い ました。	毎月第4木曜日 12回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
多世代交流昼食会	(目的) 多世代交流の場。地域の顔の見える関係づくり。 (内容) 西富町内会館、ひかりヶ丘町内会館、ケアプラザの3か所で昼食会を行いました。 町内会館でのカレーは町内の方に作ってもらい開催しました。	8月 3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
多世代交流	(目的) 子育て世代と高齢者の多世代交流。声のかけあえる関係づくり。 (内容) 子育てサークルさんからの要望による多世代交流。町内会にわかれて、お菓子作り、ゲームなどを行いました。	11月、2月 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
年末大掃除	(目的) 貸館団体のボランティア活動の一環。 (内容) 多目的ホール、ボランティアルーム、ケアルーム、調理室の大掃除を各団体数名参加して行いました。	12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スマイルカフェ	(目的) 誰もが集い安らぐ居場所作り (内容) お茶を飲みながらおしゃべりと、なんでも相談を受け、ゲームを楽しみました。	毎月第4月曜日 12回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コグニサイズ	(目的) 認知症の予防に役立つコグニサイズの普及、周知。 (内容) 頭を使い、声を出しながら、体を動かすエクササイズの紹介を行いました。	毎月第1火曜日 12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜市大ボランティア講座	大学に広くボランティア活動の啓発を行い、ボランティア活動を行うきっかけづくり、ボランティア活動者の養成・獲得を目指すとともに、社会教育の一環。 ・ボランティア活動についての講義 ・活動者の話・活動先の紹介 ・体験実習・報告会（振り返り）	4月～6月 3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
認知症を知って 予防しよう	地域	¥26,137	地活	¥0	¥0	¥26,137	¥0	¥0	
	25人		包括						
	0円		生活						¥26,137
西ハイツサロン	地域	¥5,512	地活	¥5,800	¥0	¥0	¥5,512	¥0	
	58名		包括						¥0
	100円		生活						
介護者のつどい	地域	¥1,264	地活	¥0	¥0	¥0	¥1,264	¥0	
	69名		包括						¥1,264
	0円		生活						
シルバーライフ安心講座	地域	¥10,000	地活	¥0	¥0	¥10,000	¥0	¥0	
	53名		包括						¥10,000
	0円		生活						
高齢期に知っておきたい法律講座	地域	¥10,000	地活	¥0	¥0	¥10,000	¥0	¥0	
	27名		包括						¥10,000
	0円		生活						
せせらぎサロン	地域	¥37,531	地活	¥0	¥42,640	¥0	¥34,260	¥3,271	
	679人		包括						
	0円		生活						
ほほえみくらぶ	養育者及び乳幼児	¥40,551	地活	¥25,600	¥0	¥36,399	¥4,152	¥0	
	391人		包括						¥14,951
	200円		生活						
0～1歳児講座	養育者及び乳幼児	¥51,517	地活	¥22,700	¥0	¥50,112	¥1,405	¥0	
	292人		包括						¥28,817
	200円		生活						
ひなたぼっこ	障害児・者	¥12,472	地活	¥6,800	¥0	¥0	¥6,312	¥6,160	
	170人		包括						¥5,672
	100円		生活						
サマーフレンド	障害児・者	¥2,819	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥2,819	
	37人		包括						¥2,819
	0円		生活						
おとうさんといっしょに遊ぼう	養育者及び乳幼児	¥0	地活	¥1,300	¥0	¥0	¥0	¥0	
	41人		包括						
	100円		生活						
学校と施設の連絡会	地域	¥6,694	地活	¥0	¥0	¥0	¥6,694	¥0	
	31人		包括						¥6,694
	0円		生活						
お元気体操教室	子ども・青少年	¥5,568	地活	¥0	¥0	¥5,568	¥0	¥0	
	37人		包括						¥5,568
	0円		生活						
ぽっかぽか	障害児・者	¥7,990	地活	¥6,000	¥0	¥0	¥0	¥7,990	
	9人		包括						¥1,990
	1,500円		生活						
いちごクラブ	子ども・青少年	¥17,670	地活	¥29,900	¥0	¥0	¥0	¥17,670	
	820人		包括						
	100円		生活						

# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
利用者懇談会	地域	¥3,838	地活	¥3,838	¥0	¥0	¥0	¥0	¥3,838
	37人		包括						
	0円		生活						
ボランティア感謝会	地域	¥23,874	地活	¥23,874	¥0	¥0	¥0	¥23,874	¥0
	65人		包括						
	0円		生活						
コミハ・ケアプラ祭	地域	¥103,014	地活	¥20,684	¥0	¥82,330	¥0	¥103,014	¥0
	328人		包括						
	0円		生活						
歌声広場	高齢者	¥61,248	地活	¥13,548	¥47,700	¥0	¥61,248	¥0	¥0
	502人		包括						
	100円		生活						
親子でチャレンジ	子ども・青少年	¥41,912	地活		¥42,000	¥0	¥0	¥41,912	¥0
	172人		包括						
	700円		生活						
手作りクッキーでクリスマス会	障害児・者	¥4,121	地活		¥5,000	¥0	¥0	¥4,121	¥0
	19人		包括						
			生活						
お元気フェスタ	子ども・青少年	¥20,380	地活	¥20,380	¥0	¥0	¥20,380	¥0	¥0
	52人		包括						
	0円		生活						
ナイトヨガ	地域	¥267,288	地活	¥67,788	¥199,500	¥0	¥267,288	¥0	¥0
	707人		包括						
	300円		生活						
チャレンジフェスティバル	地域	¥22,595	地活	¥1,095	¥21,500	¥0	¥22,274	¥0	¥321
	65人		包括						
	500円		生活						
けあぶら広場	子ども・青少年	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	209人		包括						
	0円		生活						
リンパを流すストレッチ	高齢者	¥11,136	地活	¥7,436	¥3,700	¥0	¥11,136	¥0	¥0
	41人		包括						
	100円		生活						
にじいろコンサート	地域	¥5,184	地活	¥5,184	¥0	¥0	¥0	¥0	¥5,184
	171人		包括						
	0円		生活						
みんなの歌広場	高齢者	¥66,816	地活	¥41,316	¥25,500	¥0	¥66,816	¥0	¥0
	279人		包括						
	100円		生活						
多世代交流昼食会	地域	¥27,942	地活	¥5,992	¥21,950	¥0	¥0	¥27,942	¥0
	173人		包括						
	100円		生活						
多世代交流	養育者及び乳幼児と高齢者	¥6,213	地活	¥6,213	¥0	¥0	¥0	¥6,213	¥0
	86人		包括						
	0円		生活						



# 平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
年末大掃除	地域	¥3,620	地活	¥3,620	¥0	¥0	¥0	¥0	¥3,620
	22人		包括						
	0円		生活						
スマイルカフェ	高齢者	¥12,554	地活		¥12,500	¥0	¥0	¥12,554	¥0
	126人		包括						
	100円		生活						
コグニサイズ	地域	¥92,000	地活		¥79,200	¥0	¥92,000	¥0	¥0
	264人		包括	¥12,800					
	300円		生活						
横浜市大ボランティア講座	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	45人		包括						
	0円		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						